



事業系食品ロス量(2023 年度推計値)を公表



～食品ロス量は 464 万トン、事業系では 231 万トンまで削減～

農林水産省は、食品ロス削減の取組を一層促進するために、食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量の推計を行い、消費者庁、環境省とともに公表しています。

2023 年度の食品ロス量は 464 万トン(前年度比▲8 万トン)、このうち事業系食品ロス量は 231 万トン(前年度比▲5 万トン)となり、2000 年度比で 58 パーセント削減しました。

きれいに完食するだけで喜んでくれる人がいます。
Finishing your meal makes someone happy.

「ありがとう」の気持ちを込めて 食べ残しをゼロに。
Zero leftovers with gratitude of ARIGATO.



1. 事業系食品ロス量(2023 年度推計値)

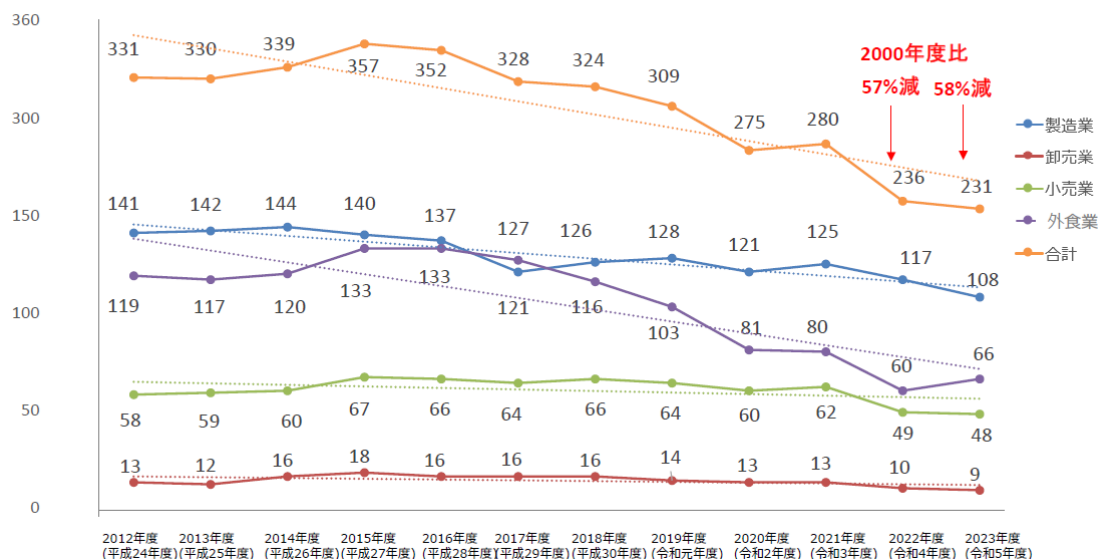
2023 年度の食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は 231 万トンとなり、2000 年度比で 58 パーセント削減しました。

※ 農林水産省は、2025 年 3 月に公表した「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」(食品リサイクル法)の基本方針において、食品関連事業者から発生する事業系食品ロスを 2000 年度比で 2030 年度までに 60 パーセント削減させる目標を新たに設定しました。

これまでの事業系食品ロス量の推移は以下のとおりです。

事業系食品ロス量推計値の推移

(単位：万トン)



農林水産省では、事業系食品ロスの削減に向けて食品業界における需要予測の精緻化といった DX の推進をはじめ、新たな技術・仕組みの導入、「3分の1ルール」といった納品期限の緩和や賞味期限の延長、フードバンクや子供食堂への寄附など、引き続き、関係省庁とも連携し、消費者の理解を得ながら食品関連事業者とともに、より一層の食品ロス削減のための取組を進めてまいります。

2. 参考

○ 「食品ロス」とは、本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品です。

2015 年 9 月に国際連合で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」で定められている「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs) のターゲットの 1 つに、2030 年までに小売・消費レベルにおける



世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させることが盛り込まれました。

○ 各省の関係ページ

- ・ 消費者庁公表ページ

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/042653/> 【外部リンク】

- ・ 環境省公表ページ

https://www.env.go.jp/press/press_00002.html 【外部リンク】

- ・ 農林水産省ホームページ

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/index.html



お問合せ先

大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化課

食品ロス・リサイクル対策室食品ロス削減・リサイクル班

担当：速見、大嶋、堀井

代表：03-3502-8111（内線 4319）

ダイヤルイン：03-6744-2066